

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第144回 『うちの子、発達障害？』

みえ発達障がい支援システムアドバイザー 竹村 マミ

乳幼児健診等で、ちょっと落ち着きがないとか他の子と違う等、気になることがあると、「うちの子、発達障害ですか？」と聞かれる保護者の方が見えます。「どうして、そんなことを聞くのですか？」と尋ねると、「発達障害であれば早期発見が良いと聞くから」と言われます。でも、なぜ良いのか聞くと、よくわからなかったりします。

では、なぜ“早期発見”が良いのでしょうか。

今、児童精神科の受診予約が、半年待ち、若しくは予約が取れない病院もあります。ただ、風邪をひいたら風邪薬を飲んで徐々に回復していきますが、幼児期に児童精神科に掛かって診断がついたところで、小さいお子さんに薬で対応することは、ほとんどありません。

早期発見は早期支援をするためなのです。その子に合った支援を早くからすることで、問題行動や困り感の軽減、二次障害の予防になるとお考えください。

もちろん、専門の医療機関に掛かることで、療育が受けられることや、診断を受けることで保護者のしつけが原因でないことがわかり、安心される方もみえます。でも、予約をされても半年待ちです。その間の支援が必要です。特性のあるお子さんは、一般的な関わり方では上手くいかないことが多く、工夫がいります。どのように支援をしたらよいのか迷った際は、子育て健康課（377-5652）までご連絡ください。

必要に応じて、専門家による相談、のびのび相談（心理士による発達の相談）やすくすく相談（言語聴覚士による言葉の相談）におつなぎします。

11月活動報告

11月12日～11月25日は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

11月13日、朝日町のオークワで、三重県北勢福祉事務所や四日市北警察署の職員、朝日町からは、民生児童委員、人権擁護委員などの方たちが、啓発のためのティッシュ配布を行いました。

